

# 拓水

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会  
兵庫県水産改良普及協会  
神戸市兵庫区新在家町 太田  
発行人 三浦清太郎  
TEL 6685・6695  
編集 水産編集委員会  
発行日 毎月30日  
一部10円  
昭和32年10月18日  
第3種郵便物認可

## 昭和43年度 兵庫県農業祭 盛大に開かる

### 洲本市民会館

恒例の兵庫県農業祭は毎年各地で開かれてきたが、本年はとくに明治百年を記念して、さる十月十六日、洲本市民会館において金井知事、農林部長等出席のもとに、農漁業関係者約八百人が出席して極めて盛大に挙行された。同市民会館の煌々たる明るさのなかに、参列者一同晴々とした面持で式典は和やかなうちに厳粛な空気に満ちた。



金井知事から感謝状を受ける功労者 (神戸新聞提供)

以下はそのあらましである。  
親、子、孫三代にわたって

### 本年度乾のり取扱い

#### 基本方針について

いよいよ、生産期が迫ってまいりました。本年度の全国生産は四五億一五〇億枚が予想されており、一方、業者はかなりの在庫をかかえて市況は軟調で、粗安らず不振を心配している。先行き懸念が多いものと考えられるのである。

そこで、本紙をかり、本年度の、共販のそび基本方針を述べ、関係者各位のご理解とご協力をお願いするものであります。さて、本紙八月号に「流通業界の混乱に鑑みて」と題しての拙文のなかに本年度共販対策として、①リスクの排除をどのよう

にすべきか、②流通業界の混乱に鑑みて、本年度共販対策として、①リスクの排除をどのよう

にすべきか、②流通業界の混乱に鑑みて、本年度共販対策として、①リスクの排除をどのよう

にすべきか、②流通業界の混乱に鑑みて、本年度共販対策として、①リスクの排除をどのよう

活耀中の農林水産功労者に感謝状が贈られた。また長年にわたって農林水産功労者に感謝状が贈られた。また長年にわたって農林水産功労者に感謝状が贈られた。

活耀中の農林水産功労者に感謝状が贈られた。また長年にわたって農林水産功労者に感謝状が贈られた。

活耀中の農林水産功労者に感謝状が贈られた。また長年にわたって農林水産功労者に感謝状が贈られた。

活耀中の農林水産功労者に感謝状が贈られた。また長年にわたって農林水産功労者に感謝状が贈られた。

活耀中の農林水産功労者に感謝状が贈られた。また長年にわたって農林水産功労者に感謝状が贈られた。

活耀中の農林水産功労者に感謝状が贈られた。また長年にわたって農林水産功労者に感謝状が贈られた。

活耀中の農林水産功労者に感謝状が贈られた。また長年にわたって農林水産功労者に感謝状が贈られた。

活耀中の農林水産功労者に感謝状が贈られた。また長年にわたって農林水産功労者に感謝状が贈られた。

### 養魚の調餌から造粒そして投餌まで

この機械がします

最近の人工飼料の需要の増加にともない、生魚と人工飼料をよく練り合せ、造粒装置チヨッパーで固型にして投餌する時代となりました。この一連の作業をこの機械が行ないます。

(唯一税次第カタログ贈呈いたします)

ミートチヨッパーとプレート、ナイフの専門工場  
株式会社 平賀工作所 神戸市長田区水笠通2丁目70番地  
TEL 代表神戸 62-1527

### 漁場と市場を結ぶ!

(新製品) ●PM形/3馬力~4馬力

●T形/10馬力~20馬力

●船主機用 3~800馬力

ヤンマーディーゼル

ヤンマーディーゼル株式会社 <本社>大阪府北區花田町62番地

# 10~11月の漁海況 (内海側)

## 海況

10月上旬の観測結果では、大阪湾、播磨灘ともに表層では23.9℃、10m層では24.2℃を示し、南海域とも例年より0.5℃高目であった。しかし、南海域の北部沿岸部では、すでに表層が低層より低い冬季の水温分布となっている。気象の長期予報では、今年の末から来年始めの冬は、かなり冷え込みが予測されている。内海における海況の周期(大週期1~8年、小週期1~4年)からみると、12月~1月は比較的寒冬型と思われる。一方、南海域の塩素量は既報のように9~10月にかけてやや例年より降水量が多かったのと、外洋系水の勢力が弱まったため、全般的に低かんとされている。なお、11月中の水温は、上旬で19~20℃、下旬には17~18℃に下降の見込。

## 漁況

既報(9月号)のように、今年は2~8月の低水温(特に播磨灘)によって、春~夏にかけて繁殖を示す主要水産物の来遊、産卵活動がおくれ、各種稚魚の発生は量的にも少なかつた模様である。

近年の県下内海における生物群集構成は、主として海況の周期的変動によるとはいえ、有用生物の中では、それに対する漁獲強度によって変化を来たしているとも推定されるものもあるし、また他産業による漁場の縮小、荒廃によっているものもあるだろう。

これらの事象を資源生物の観点によって考察すると、たとえば、イカナゴではこまじ網が主漁業であった年代よりも、6cm以上の若年群(5~6月)に漁獲主体が変化した近年の方が、海況条件の好、不適による発生量の変動が大きいという要素を含んでいるとはいえず、親と子の量的関係における再生産力は、むしろ好転していると推定される。一方、近年のマアナゴ漁獲量は昭和38年以降急増している(図参照)。この増加についてはもちろん正確を期し難いが、次の要因が上げられる。

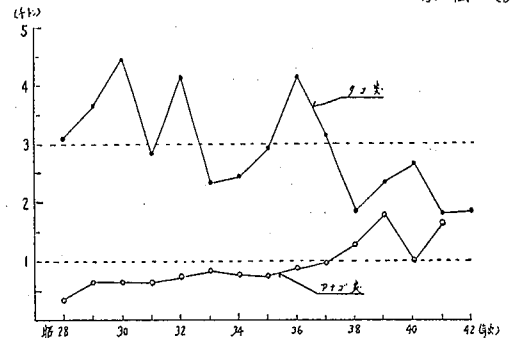
- (1) マアナゴの産卵場は不明(黒潮流域の深部と推定される<sup>9)</sup>)であるが、人為的障害はほとんど受けないこと。海況条件による繁殖幼生(レプトセファルス)の移送量、その方向による来遊量の増減は考えられる(図参照)。
- (2) 例年3~5月に繁殖幼生が出現するが、イカナゴこまじ網の激減(昭和39年以降)によって漁獲量が少なくなったこと(量的には不明)。
- (3) 特に寒冬年には変態期稚魚(6~7月)の減耗が少ないこと。
- (4) 県下内海で漁獲されるマアナゴの年齢は0~3年魚で4年以上の若年魚(産卵親魚)の漁獲がほとんどないこと(生殖腺の完熟は外洋であるらしい<sup>10)</sup>)。
- (5) 20cm以下の0年魚は、播磨灘場場で大部分投棄されることなどである。

また、マアナゴの産卵数は100~1000万粒<sup>9)</sup>と推定されている。しかし、このようなマアナゴの増加がみとめられる一方、マダゴの減少もまた目立っている。昭和38年の異常冷水現象は本種の資源に大きな打撃を与えたが、それにしてもその回復は順調とはいえない。あるいは主要漁場(産卵場も含む)の荒廃、海況の変化<sup>10)</sup>という要因が大きいかも知れないが、上記のマアナゴの増加という両種の直線的な要因も一考される。すなわち、マダゴの主産期は9~10月<sup>11)</sup>であり、その主産期および稚魚の生息域とマアナゴの生息域とはほとんど重なることである。マダゴが多獲された年代の播磨灘におけるマアナゴの食性調査資料がないので比較できないが、昨年からの今年にかけて行った資料によると、エビ類、ゴカイ類および小型魚類が大半を占める。しかし、例証は少ないが、今年10月上旬の標準ではマダゴ卵を捕獲していること、12月~1月にかけて稚魚を捕獲している事実はマアナゴの増加=マダゴの減少(イダゴは増加傾向)という相互関係を全く無視できないようである。

以上は、発生、成長の過程において、時間的あるいは空間的に生息域の重なる場合の種間関係と、そこに介入する漁業との関係について、二、三の例を述べたにすぎない。近年のマアナゴ漁獲量が更に大きく増加することは考えられない。いつかにしても、水産生物資源の増減を適確に把握することは困難ではあるが、漁獲量の変動は対象魚種の資源の大小とその経済価値によって、経年的な型と傾向を示すものと思われる。

- 参考文献
- 1) 内水研要報 (1958年)
  - 2) 高井 徹：水産研究報告 (1959年)
  - 3) 窪田 三朗：三重大紀要 (1961年)
  - 4) 井上喜平治：水産界 (1951年)
  - 5) 伊丹 宏三：水産増殖 (1964年)

水試 (沼田)



0歳マアナゴ漁獲量の年経推移(内海側)

## 淡路島の海苔養殖の現況と今後の方向

### 現況と今後の方向

淡路島における海苔養殖の歴史は、比較的新しく昭和三十一年度頃から、昭和三十三年度頃まで養殖二枚の養殖海苔の試験操業されたのが、最初と云われています。その後、昭和三十四年頃、養殖協の森吉二氏によって「複式全浮動養殖法」が考案され、以後急速に伸びて来ましたが、

現在、養殖をしている地区は、冬期比較的海が静かである、養殖量の豊富な東浦海面に偏在しており、その他、阿那賀及び南淡阿賀でおこなわれています。昭和四〇年度、九〇二圃、昨年度一、一五〇圃で、本年度の養殖計画圃数は約四〇〇圃と急激に伸びています。

特に、冬期、荒天の多い西浦海面に於いて、一畝町

### 必要とするところである。

現在、淡路に於ける海苔養殖の最大の弱点は、圃網の殆んどを島外業者に委ねている事であり、

勿論、岸深で圃網が少なく、自家採苗圃が極めて少く、大部分を愛用、九州の業者に委ねられている事。

最近、これらの圃網供給地では、他県に圃網を出さないよう指導している圃網業者があるやに聞いているので、今後、淡路海苔養殖業者は、圃網の自給について、心をこめて考えねばならないことと思われる。

## 基本水準面

### の三辞典

わが国において海図に記入されている水深の基準となっている海面であって、陸上の高さの基準となっている面(これを東京湾中等潮位と云う)と異なっている。また潮汐表の高潮、低潮の潮位(潮の高さ)は基本水準面からの高さを示した値を示されているのが普通である。

基本水準面は、ほぼ年間最低低潮面と同じであるがところによってはこれよりも低い潮位があらわれることも時々ある。海図上の深さは基本水準面からであるから、深さを測るとそれより深くなるのが普通である。すなわち実際の深さは海図に記されている深さにその時の潮位を加えたものとなる。海図上の深さが基本水準面をもとに示されているのは船舶の航海の安全をはかるの目的で作られているからである。

(富)

●主機用 4~1000馬力  
●補機用 8~3000馬力

●3MKE形/35馬力

おいそがしいあなた……  
十分な睡眠が明日への健康を約束します

三菱バイレン肌ふとん  
只今好評発売中!

寝具の 大阪屋 商事株式会社

本社 東京都文京区千石4ノ33 TEL 東京 (94)1521  
関西営業所 尼崎市生津東野口 TEL 大阪 (42)7990



川柳カマボコ放談

助川 助六

かまぼこへ、子を走らせて二級つけ

作者の有名な、気さくなカマボコ先生、生果界、狸講界の追慕の念は相...

かまぼこの白さ女のしとやかさ

これは、また、カマボコよ、女よしと云った抜配、ドンチャンさわぎならぬ...

かまぼこ一枚冷やてよい二人

高砂市の山出さんという。高砂でいう「色もの」である。ところがわが家で...

かまぼこ一枚冷やてよい二人

初心するべからずというが、のど元すぎれば...

あいつはあいつ

あわや衝突寸前のショックキングシーもあつたらうとおもう。

あいつはあいつ

石橋をたたいて、まさしく手ぎり状態のノロノロ運動もあつたらう。

あいつはあいつ

運動は、いわば常に飲酒運動、しかも、はきはは運動もあつたらう。

あいつはあいつ

だが、少し馳れてくると生兵法とやらで、これからが氣をたねばいけぬ。

かまぼこ二つまゝ

子供さんたちをたしなめていられるのは、いかにも皮肉である。チヌさんはケイイサツ器...

かまぼこで、飲ん

月給が上って、カラーテレビが買えてという夢は夢として、つましい中にも...

かまぼこで、飲ん

神川の養生大人の作。素生さん自身で遠慮を越えて、この感銘を深くした...

かまぼこで、飲ん

一月の終り頃父からの手紙を受け取った。それは意外な内容のものであった。

かまぼこで、飲ん

それだとええ病いなくても、そんな病気が潜んでいる。しかし父のいうように...

かまぼこで、飲ん

私はふと昨年の夏の一泊を思い出した。しよきや酒家のおやぢの許であつた。私は彼のために喜んで...

かまぼこで、飲ん

それが半日程たった頃東京にいた弟三がやってきた。彼は急進的進歩社会主義者の群にはいらていた...

かまぼこで、飲ん

わしは自分ごとで遊んだり手伝ったりする考えだといふ。彼は学校で経済学をやっていたので私などには...

かまぼこで、飲ん

清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。

かまぼこで夜食夫婦に火が着し

ガスの火もさしい今宵の夜食を、カマボコなればこそ、お相伴できるのであ...

かまぼこで、飲ん

この端母の皿。神川の養生大人の作。素生さん自身で遠慮を越えて、この感銘を深くした...

かまぼこで、飲ん

一月の終り頃父からの手紙を受け取った。それは意外な内容のものであった。

かまぼこで、飲ん

それだとええ病いなくても、そんな病気が潜んでいる。しかし父のいうように...

かまぼこで、飲ん

私はふと昨年の夏の一泊を思い出した。しよきや酒家のおやぢの許であつた。私は彼のために喜んで...

かまぼこで、飲ん

それが半日程たった頃東京にいた弟三がやってきた。彼は急進的進歩社会主義者の群にはいらていた...

かまぼこで、飲ん

わしは自分ごとで遊んだり手伝ったりする考えだといふ。彼は学校で経済学をやっていたので私などには...

かまぼこで、飲ん

清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。

かまぼこで、飲ん

わしは自分ごとで遊んだり手伝ったりする考えだといふ。彼は学校で経済学をやっていたので私などには...

かまぼこで、飲ん

わしは自分ごとで遊んだり手伝ったりする考えだといふ。彼は学校で経済学をやっていたので私などには...

かまぼこで、飲ん

清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。

かまぼこで、飲ん

わしは自分ごとで遊んだり手伝ったりする考えだといふ。彼は学校で経済学をやっていたので私などには...

かまぼこで、飲ん

清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。

かまぼこで、飲ん

わしは自分ごとで遊んだり手伝ったりする考えだといふ。彼は学校で経済学をやっていたので私などには...

かまぼこで、飲ん

清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。

かまぼこで、飲ん

わしは自分ごとで遊んだり手伝ったりする考えだといふ。彼は学校で経済学をやっていたので私などには...

かまぼこで、飲ん

清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。清三は吉原信子と思わせられた。

かまぼこで、飲ん

わしは自分ごとで遊んだり手伝ったりする考えだといふ。彼は学校で経済学をやっていたので私などには...

去るもの来るもの

風来漁人

思ひ出の記 (39) 一月の終り頃父からの手紙を受け取った。それは意外な内容のものであった。外な内容のものであった。外な内容のものであった。

三菱保護眼鏡 (ダイクローム偏光めがね) 三菱電機株式会社. Advertisement for safety glasses with technical details and a diagram of the lens.